



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月3日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2814 URL http://www.sato-foods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 邦雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 那須 智 (TEL) 0568-77-7316
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,219	2.6	736	△10.9	831	△7.5	1,579	205.6
2019年3月期第3四半期	5,089	0.6	826	△8.7	898	△7.9	516	△25.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	252.46		251.12					
2019年3月期第3四半期	82.74		82.21					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,506	17,615	90.2
2019年3月期	18,051	16,072	88.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,585百万円 2019年3月期 16,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	5.1	1,166	11.8	1,239	10.3	1,990	173.7	318.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	9,326,460株	2019年3月期	9,326,460株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	3,066,622株	2019年3月期	3,079,942株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期3Q	6,255,330株	2019年3月期3Q	6,246,513株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが増しているものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、人手不足に伴う生産・物流コストの高騰に加え、相次ぐ自然災害や消費税増税に伴う個人消費の縮小等が懸念され、海外では、米中貿易摩擦等による中国経済の減速や、英国のEU離脱問題等の海外経済の動向等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社の当第3四半期累計期間における売上実績は、茶エキスにつきましては、緑茶エキス等が減少したものの、紅茶エキス等が増加したため、売上高は2,625百万円(対前年同四半期比3.6%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末酢・粉末魚介等が減少したものの、粉末椎茸・粉末昆布等が増加したため、売上高は1,372百万円(同0.9%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、椎茸エキス等が減少したものの、昆布エキスが増加したため、売上高は556百万円(同0.3%増)となりました。

植物エキスにつきましては、野菜エキスが減少したものの、果実エキス等が増加したため、売上高は556百万円(同4.7%増)となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ等が減少したものの、ワインタイプ等が増加したため、売上高は103百万円(同1.4%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,219百万円(同2.6%増)となり、前年同四半期に比べ130百万円増加しました。

損益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は736百万円(同10.9%減)、受取配当金66百万円(同13.4%増)を計上したため、経常利益は831百万円(同7.5%減)となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等△751百万円(前年同四半期は252百万円)を計上したため、四半期純利益は1,579百万円(同205.6%増)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は19,506百万円となり、前事業年度末に比べ1,455百万円増加しました。

流動資産については10,757百万円となり、前事業年度末に比べ829百万円増加しました。主に、現金及び預金が578百万円、売上債権が72百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,749百万円となり、前事業年度末に比べ625百万円増加しました。主に、有形固定資産が188百万円減少したものの、繰延税金資産が580百万円、投資有価証券が210百万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は1,891百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円減少しました。

流動負債については1,818百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円増加しました。主に、未払法人税等が86百万円減少したものの、仕入債務が212百万円増加したことによります。

固定負債については72百万円となり、前事業年度末に比べ120百万円減少しました。主に、繰延税金負債が113百万円減少したことによります。

純資産合計は17,615百万円となり、前事業年度末に比べ1,542百万円増加しました。主に、配当金の支出により187百万円減少したものの、四半期純利益1,579百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が144百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年2月3日に公表いたしました「繰延税金資産の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,928,503	7,506,880
受取手形及び売掛金	1,676,874	1,749,613
製品	546,807	583,258
仕掛品	398,343	294,633
原材料及び貯蔵品	357,338	394,611
その他	20,167	228,373
流動資産合計	9,928,035	10,757,370
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,706,436	1,636,685
機械及び装置(純額)	1,064,682	912,568
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	4,452	16,673
その他(純額)	115,702	136,409
有形固定資産合計	5,449,578	5,260,641
無形固定資産	16,778	33,130
投資その他の資産		
投資有価証券	2,414,060	2,624,087
破産更生債権等	1,442,482	1,425,078
繰延税金資産	—	580,006
その他	243,194	251,435
貸倒引当金	△1,442,482	△1,425,078
投資その他の資産合計	2,657,254	3,455,529
固定資産合計	8,123,611	8,749,301
資産合計	18,051,647	19,506,672

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,864	630,236
短期借入金	680,000	680,000
未払金	180,015	159,680
未払法人税等	137,970	51,040
賞与引当金	120,000	61,203
設備関係支払手形	214	—
その他	249,714	236,584
流動負債合計	1,785,778	1,818,745
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,340	17,130
繰延税金負債	113,587	—
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	193,576	72,779
負債合計	1,979,354	1,891,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,803	4,440,440
利益剰余金	10,964,646	12,356,260
自己株式	△3,429,394	△3,414,602
株主資本合計	15,652,329	17,054,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	386,868	531,071
評価・換算差額等合計	386,868	531,071
新株予約権	33,093	29,702
純資産合計	16,072,292	17,615,147
負債純資産合計	18,051,647	19,506,672

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,089,002	5,219,007
売上原価	3,587,791	3,802,522
売上総利益	1,501,210	1,416,484
販売費及び一般管理費	674,727	680,417
営業利益	826,483	736,066
営業外収益		
受取利息	882	840
受取配当金	58,560	66,387
貸倒引当金戻入額	1,238	17,404
その他	15,056	13,981
営業外収益合計	75,739	98,615
営業外費用		
支払利息	2,943	2,793
その他	295	1
営業外費用合計	3,239	2,794
経常利益	898,982	831,887
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	1,372	—
受取保険金	15,762	—
特別利益合計	17,134	4
特別損失		
損害賠償金	—	997
固定資産除却損	1,734	3,173
投資有価証券評価損	143,273	—
その他	1,327	—
特別損失合計	146,335	4,170
税引前四半期純利益	769,781	827,721
法人税等	252,954	△751,489
四半期純利益	516,827	1,579,211

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、食品加工事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,558,402	△1.6
粉末天然調味料	1,333,678	△0.3
液体天然調味料	553,522	△2.0
植物エキス	599,072	1.3
粉末酒	103,354	2.0
合計	5,148,030	△0.9

(注)1. 金額は、販売価格によっております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,625,496	3.6
粉末天然調味料	1,372,160	0.9
液体天然調味料	556,553	0.3
植物エキス	556,517	4.7
粉末酒	103,292	1.4
その他	4,987	△6.0
合計	5,219,007	2.6

(注)1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株伊藤園	840,086	16.5	814,299	15.6
三菱商事ライフサイエンス(株) (旧:MCフードスペシャリティーズ(株))	526,554	10.3	535,438	10.3